

がん患者の循環器疾患の診断、治療、予後に関する包括的な研究

1. 研究の対象

今まで当院へ受診・入院された患者さんのうち、心電図、エコー検査、CT検査、カテーテル検査、血液検査を行った方、または今後これらの検査を受けられる方を対象とします。

2. 研究目的・方法

がん治療の進歩に伴いがん患者の予後が改善している一方、化学療法や放射線治療に伴う心血管毒性、がん治癒後の心血管イベントの増加、そしてがん関連血栓症と呼ばれる多彩な血栓塞栓症などが、患者さんの病状に影響を与えるため、今注目されています。大阪国際がんセンター腫瘍循環器科はがん患者さんが安全に最適ながん治療を継続できるようにするため、これらの循環器疾患の診断、治療、予後などを詳しく研究し、がんの治療に役立てることを目的としています。

循環器疾患について調査するため、レントゲン検査、単純CT、造影CT、心臓CT、MRI検査、心臓カテーテル検査・治療、心電図検査、負荷心電図検査、心エコー、下肢静脈エコー、血液検査などの検査データを用いて様々な解析を行います。また、同時にカルテを閲覧し必要なデータは個人情報をも匿名化し利用します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、カルテ番号、

各種CT, MRI, エコー、カテーテル検査、心電図、血液検査 等

試料：使用しません

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 西川 達哉

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科 藤田 雅史

-----以上